

憲法施行75年の今年を『6つの止』実現の希望の年に

日本のうたごえ創立75周年記念事業計画

日本のうたごえ創立 75 周年記念事業を成功させる「よびかけ人」(敬称略・順不同 22年8月現在)

森村誠一(作家)、池辺晋一郎(作曲家)、池澤夏樹(小説家・詩人)、浅井敬壹(合唱指揮者)、井上鑑 (キーボード奏者・アレンジャー・プロデューサー)、木津川計(立命館大学名誉教授・上方芸能評論家)、小村公次(音楽評論家)、栗山文昭(合唱指揮者)、寺嶋陸也(作曲家)、新実徳英(作曲家)、信長貴富(作曲家)、藤井知昭(音楽学者)、普天間かおり(歌手)、松野迅(ヴァイオリニスト)、湯川れい子(音楽評論家・作詞家)、伊藤千尋(ジャーナリスト)、山田洋次(映画監督)、ナターシャ・グジー(歌手)、浅野昭利(財団法人浅野太鼓文化研究所理事長)、安井正和(原水爆禁止日本協議会事務局長)、小畑雅子(全国労働組合総連合議長)、米山淳子(新日本婦人の会会長)



敗戦の焼け野原の中からわき起こった「うたごえ運動」は、国民の生活と闘いに結びつき全国に広がっていく中で運動に携わった計り知れない多くの人々によって今日まで発展してきました。その「うたごえ運動」が、2023年いよいよ創立75周年を迎えます。この75周年を実りあるものにしようと、75周年記念事業委員会を立ち上げ、現在までに下欄の10の記念事業計画をもつことといたしました。コロナ禍においても、果敢に音楽と向き合い、人と結びつき、時代を切り拓くため、うたごえ運動を繋ぎ発展させてきた全国の大勢の仲間がいます。うたごえにとって時代を生きることは、今を生きる人間と音楽で結びつき、うたで対話することです。草創期から運動に参加し、平和と民主主義を守るたたかひの先頭に立って運動をけん引してきた先達たちが、どう「うたごえの世界」を切り拓いてきたのか、後続の私たちがそこから何を学びどう生かしていくか。運動75周年の節目に向かう命題でもあります。うたごえは創立以来、いのちの叫びを歌に込めて、人々の心に勇気と希望の光を届けてきました。その運動を支えてきたのが、幅広い草の根運動と類まれなスペシャリストとのコラボレーションです。その具体的な取り組みが日本を代表する6人音楽家たちによる委嘱記念作品「スタートライン」の出版であり、記念祭典となる日本のうたごえ祭典in北海道に、5人の先生方がごぞって参加して共にステージを創ってくださるといふ絶大なお力添えによるコラボレーションです。

憲法施行75年の本年、今こそ9条の力を活かすときです。国民主権・個人の尊厳・平和の共存という人類普遍の唯一の道が、憲法の本質であることをあらためて75年の節目に想い起す絶好機です。「うたごえ運動」75年をさらなる飛躍の跳躍台として、各記念事業を多くの皆様方の物心両面にわたるご支援ご協力で成功させることができますよう心よりお願い申し上げます。

日本のうたごえ全国協議会

2023年日本のうたごえ創立75周年を迎えるにあたって ♪日本のうたごえ創立75周年記念事業計画の概要♪

基本計画の概要 目標年次～運動創立70年(2018年)から75年(2023年)
具体化されている10の活動計画

うたごえ 75 周年記念「日本のうたごえ祭典 in 北海道」

6人の音楽家によるオムニバス作品集「スタートライン」の出版

池辺晋一郎、井上鑑、木下牧子、寺嶋陸也、新実徳英、信長貴富の各氏に1曲ずつ新作の委嘱をし、楽曲集として出版

「スタートライン」出版記念/作品発表とシンポジウムの開催

創立75周年記念シンボルマークの制作

創立75周年記念レセプション 日時/23. 3. 4(土)18時～(予定)全国総会1日目終了後

75周年記念出版◆「田中会長の発言・論文集」(仮称)著者/田中嘉治◆「歌で綴る運動の歴史 CDブック」著者/未定

「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める」うたごえ新聞意見広告

核廃絶のための23. 1. 22全国うたごえアクション

「日韓音楽交流25年」を記念した取組み

「うたごえは生きる力」～運動の力にするための普及促進